

世田谷区が目指す千歳烏山駅周辺の街づくり

(千歳烏山駅周辺地区地区計画)

基本目標 合理的な土地利用、安全で快適な歩行者空間の確保及び防災性の向上等を誘導することで、住環境に配慮しながら回遊性のある魅力的な駅前商業空間の維持・増進を図ります



世田谷区では下記のような支援制度があります

建築物の共同化事業への支援 (優良建築物等整備事業)

小さな敷地が集まり、民間事業者が実施する共同化事業で、魅力あふれる空間づくりを行う計画には、**既存建築物の除却・整地、建築物の設計費(※)や施設整備等に要する費用の一部に補助**を行っています。

※令和6年4月より施行



小さな敷地が集まり共同化
イメージ図

段差解消や手すり・ベンチ設置等のやさしいまちづくりへの支援

(ユニバーサルデザイン生活環境補助金)

「どこでも、だれでも、自由に使いやすいまち」の実現に向けた補助を行っています。

●支援メニュー

- ①店舗出入口の段差解消や手すり等の設置
- ②ひと休みできる場所としてのベンチ設置



整備事例

あとがき

表紙は、平成18年に区が千歳烏山周辺商店街の皆様のご協力を頂きながら作成した商店街・街づくり絵本「商店街の時間」に使われているイメージです。

千歳烏山駅周辺でも京王線連立事業の工事が着手される等、将来に向けたまちの基盤整備が進められています。区では、こうした事業を契機として、商店街やまちづくり活動団体との連携等様々な取組みを推進し、より良いまちづくりの実現に努めてまいります。

千歳烏山 街づくりニュース



昭和30年



昭和50年

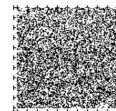


平成17年

せたがや 昔・・・▶今

出典：商店街と協力して作成した[商店街・街づくり絵本]商店街の時間 (平成18年3月発行)

京王線連立事業等の将来に向けた街づくりの取組みが進んでいます
みなさんはどのような「まち」にしていきたいですか？



◆京王線連立事業、鉄道附属街路（側道）

・事業計画期間 2030年度まで

開かずの踏切が解消され、安全性の向上や南北の行き来がしやすくなります。また、側道の整備により、既存商店街の東西動線の強化を図ります。



高架化工事状況

◆千歳烏山駅前広場南側地区

・2022年12月に再開発準備組合を設立

魅力的な駅前空間の創出や安全な歩行者空間の整備、防災性の向上等の駅周辺のまちづくりに寄与する施設計画等について具体的な検討が進められています。



検討イメージ（駅前広場上空から）

出典：再開発事業を活用したまちづくりの基本的な考え方

千歳烏山駅周辺の街づくりの動き



◆補助216号線（都市計画道路）

・事業計画期間 2030年度まで

旧甲州街道まで自動車の動線が繋がり、駅前通り等の自動車の通過交通が減少します。



整備済み（はっけん通り）

◆駅前広場

・事業計画期間 2030年度まで

バス、タクシーの乗入れにより交通結節点の強化を図り、災害時の防災拠点や賑わい集うことができる地域のシンボルとしての機能を確保します。



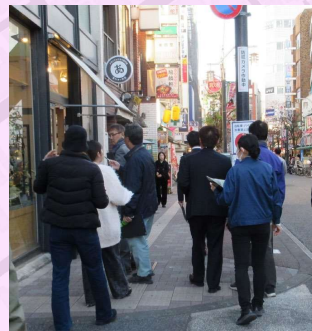
整備イメージ(千歳烏山駅前広場)

◆千歳烏山商店街連合会のまちづくり

・2019年に5商店街で構成される商店街連合会を結成

さらなる街の発展につなげることを目的として、街づくり委員会を設置しました。データによる地区現況分析等を行い、**ありたいまちの姿とその実現に向けた具体的な取組み事例を「ちとから・まちづくりデザイン」（2022年）に取りまとめました。**

2023年には、日本女子体育大学の学生と一緒に実際にまちを歩き、まちの良い点や課題点・気づいた点を意見交換しました。今後は、いただいた意見を受け、商店街として取組む具体的な方策を検討し、実施していく予定です。



まち歩きの様子

◆烏山ネット・わあ〜く・ショップ

・1999年に区民が中心となって発足した行政と協働して「だれにとっても住みやすいまちづくり」を実現していくための場です。

「できることから実現しよう」をモットーに活動しています。

月1回第3土曜日開催の「定例会」を活動の中心とし、その中でまち歩きなども実施しています。毎年10月に、烏山区民センター会議室と広場において、ユニバーサルデザインを楽しく学べる「UDスタンプラリー」イベントを開催しています。

みんな気軽に来てね



UDスタンプラリーの様子